

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

あり

応募概要	分野	音楽	種目	オーケストラ等
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	こうえきざいだんほうじん ぐんまこうきょうがくだん		
	制作団体名	公益財団法人 群馬交響楽団		
	代表者職・氏名	理事長 山本一太		団体ウェブサイトURL https://www.gunkyo.com/
	制作団体所在地	〒 370-0841	最寄駅(バス停)	JR高崎駅
		群馬県高崎市栄町9番1号		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/>	※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です	
	ふりがな			
	公演団体名			
	代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
	公演団体所在地	〒	最寄駅(バス停)	
	制作団体 設立年月	昭和20年11月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		理事長 山本一太(群馬県知事) 副理事長 富岡賢治(高崎市長)他4名 専務理事 西和一	団体構成員 別紙①「役員名簿」②「評議員名簿」③「楽団員名簿」参照 加入条件等 理事及び監事は、評議員会において選任する。 評議員は、評議員会において選任する。	
	事務体制 事務(制作)専任担当者の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	松浦理実
	経理処理等の監査担当の有無	有	経理担当者	佐保潤(総務課長) ※R7.9現在
本応募にかかる連絡先	メールアドレス matsuura@gunkyo.com	電話番号 0273224316		

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>1945年戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して創立、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。</p> <p>1947年から始めた移動音楽教室は、2024年度までに延べ653万人を超える児童・生徒が鑑賞し、1982年からは高校音楽教室も開催されている。</p> <p>1981年から群馬県の支援により音楽活動を充実させ、1994年には「プラハの春国際音楽祭」、「ウイン芸術週間」から同時に招待を受け4カ国を巡る海外公演を実現。2003年NHKテレビ番組「プロジェクトX～挑戦者たち～」で楽団の草創期が紹介され、2004年に天皇皇后両陛下、デンマーク国女王陛下同王配陛下をお迎えしての移動音楽教室を開催している。</p> <p>群馬交響楽団は、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開し、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されている。</p> <p>また2019年9月開館の「高崎芸術劇場」に活動拠点を移し、飯森範親常任指揮者のもと、さらなる演奏活動の飛躍・向上を目指している。定期演奏会は2024年7月に第600回に達し、2025年に創立80周年を迎える。</p>
	学校等における公演実績	<ul style="list-style-type: none"> ●群馬県内小中移動音楽教室 38日72公演 ●群馬県内高等学校音楽教室 20日20公演 ●児童移動音楽教室 (アンサンブル公演・幼、保、こども園) 17日17公演 ●心に響く音楽会 (アンサンブル公演・児童館ほか) 2日2公演 <p>■群響キャラバン“どこでも群響” (アンサンブル公演:学童施設、子ども食堂、学習施設等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度実績 4日4公演 ■群響楽器セミナー(県内中学校吹奏楽部生徒対象の楽器講習会) ・令和6年度実績 9日10回 ■県外 子ども向けコンサート事前アウトリーチ 令和5年度実績 中学校3校3公演
	特別支援学校等における公演実績	<ul style="list-style-type: none"> ●群馬県内小中移動音楽教室に合同で参加した特別支援学校 過去3年度分の実績 令和6年度実績 4校 62名 令和5年度実績 5校 76名 令和4年度実績 3校 71名 ●群響キャラバン事業“どこでも群響” (コロナ禍において公演会場への外出が困難な方のためのアンサンブル公演) 令和4年度実績 特別支援学校 3校6公演 201名 盲学校 1校1公演 14名

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/kNAkEjXWG3U	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	PW:

別添

なし

【公演団体名

公益財団法人 群馬交響楽団

】

対象	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	小学生(中学年)	<input type="radio"/>
	小学生(高学年)	<input type="radio"/>	中学生	<input type="radio"/>
企画名	オーケストラの魅力大発見！一緒に歌おう！奏でよう！			
企画のねらい	初めてオーケストラの生演奏を聴く児童・生徒が、鑑賞の楽しさやその魅力を感じられるように、一度は耳にしたことのあるだろう名曲をはじめ、様々な曲想の演目を織り交ぜました。特に「草津節の主題による楽器紹介曲」は、群馬県の特色を生かした音楽を全国の子供たちに届けたいとの思いで、地域の有名な民謡の一つである「草津節」をモチーフにした作品を独自に委嘱しました。オーケストラのそれぞれの楽器を、分かりやすく、そして楽しみながら知識を深めることができます。様々な音楽形態を散りばめたセクションごとのアンサンブル演奏や司会による解説、そしてクライマックスではオーケストラと一緒に手拍子での児童・生徒の参加を交え、知識を深めながら楽しんで聴くことができます。公演全体を通して、特徴ある様々なリズムやテンポの作品、世界各国の作品を鑑賞することで、オーケストラを目の前で体感していただき、子供の豊かな感性の向上や情操の涵養をはかれるよう考えております。			
演目概要・演目選択理由	<p>●ロッシーニ／歌劇《ウィリアム・テル》序曲から「スイス軍の行進」 ロッシーニは、イタリア・オペラの作曲家中でも最も人気のある作曲家。1829年に発表されたこの序曲は4つの部分から成るが、本公演では有名なトランペットのファンファーレから始まる4つ目の部分を演奏し、盛大に公演の幕を開ける。</p> <p>●J.シュトラウスⅡ／ワルツ「春の声」 音楽の街、オーストリア・ウィーン。シュトラウス一家は19世紀後半以降、ウィーンの舞踏会や音楽祭には欠かせない存在。この作品は春の喜びにあふれたワルツで、1883年に初演されたもの。春を迎える人々の喜びの気持ちや、華やかな舞踏会の雰囲気を体感することができます。</p> <p>●大橋晃一／《草津節》の主題による楽器紹介曲 群馬交響楽団の本拠地・群馬県には温泉地が約100カ所あり、その中でも草津温泉は「日本三名泉」にも数えられる名湯。高温の湯が特徴の草津温泉では、お湯を冷ますために板でかき回して適温にする共同作業「湯もみ」が行われ、それに合わせて歌われる作業唄が民謡《草津節》で、1918年頃から歌われている。この《草津節》のモチーフを用いた楽器紹介曲を、楽団オリジナル作品として委嘱した。木管楽器、弦楽器、金管楽器、打楽器の順に、各楽器を紹介しながら進行する。個々の楽器の音色、セクション単位でのアンサンブルを聴き比べができる。また、モチーフが優雅なワルツになったり、おしゃれなジャズアレンジに変身することで、様々な曲想の変化を聴いて学ぶことができる。児童・生徒は手拍子で参加する。</p> <p>●校歌 日頃ピアノ伴奏などで歌う校歌を、大迫力のオーケストラと共に演じる。慣れ親しんだ校歌の前奏が壮大に変化したのを耳にした瞬間から感動が生まれ、オーケストラとともに歌う喜びや歌い終えた時の達成感を実感し、改めて歌い継がれる身近な曲の素晴らしさを再認識することができる。編曲は国内の第一線で活躍する作編曲家に委嘱する。その楽譜は学校の新たな財産として寄贈させて頂いている。</p> <p>●ブームス／ハンガリー舞曲 第5番 ブームスは、バッハやベートーヴェンと並ぶ、ドイツを代表する作曲家。この曲は独特の音階とテンポの緩急に特徴がある音楽である。指揮者体験では、指揮者によるレクチャーと共にこの楽曲一部の指揮を体験することができる。</p> <p>●アンダーソン／ブリンク・ブランク・ブリンク アンダーソンは、アメリカの作曲家、指揮者。本作は全体を通じて、弦楽器はピツィカート(弓を使わず指ではなく演奏法)で演奏される。「ブランクPlank」は「板」あるいは「板の上で料理する」という意味で、「ブリンクplink」は「弦をはじく」という意味である。そこに発音上の語呂合わせで「ブリンクplink」付け加えたと思われる。音楽に合わせて楽器を回転させるなどのパフォーマンスも交え、視覚的にも楽しんで鑑賞することができる。</p> <p>●ベートーヴェン／交響曲 第5番《運命》から 第1楽章 クラシック音楽で最も知られた作品「運命」。特に“タタタターン”という出だしはよく知られており、このリズム・パターンがすべての楽章に形を変えて出てくることで、交響曲全体の統一が図られている。このような徹底した例は、1807-08年に作曲されたこの《運命》以前には存在しない。当時の多くの新しい工夫に満ちた、今もなお世界中の多くの人々に愛される傑作である。音楽鑑賞教材の定番ともいえる作品を、生演奏を通じてCD等の音源との違いや、その迫力を肌で体感することができる。</p> <p>●マスカーニ／歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》から「間奏曲」 マスカーニが歴史に刻んだこの歌劇は、出世作であると同時に彼の代表作で、タイトルは「田舎風の騎士道」を意味する。シチリアの小村を舞台とした恋愛悲劇で、日常的な題材を扱っている。それまで得てして絵空事の世界であった歌劇に実際にありそうな内容を取り入れた点で、この曲は歴史に名を残した。間奏曲は、落ち着いた雰囲気に包まれているが、それは悲劇の前の静けさを表している。イタリアの美しい景色やその鮮やかな色彩が瞼に浮かぶような名作であり、オーケストラの“美しさ”を最も感じることができる作品である。</p> <p>●ビゼー／劇付随音楽《アルルの女》第2組曲から「ファランドール」 フランス・パリに生まれたビゼーが初めて大成功をもたらした作品が、1872年に発表した《アルルの女》第1組曲である。ドーデの同名の戯曲に音楽を付けたあと、ビゼー自身がコンサート用の組曲を作った。《ファランドール》は組曲第4曲。戯曲ではクライマックスとなる第3幕の、幼なじみとフレデリの婚約の祝宴場面に出てくるプロヴァンス地方の民謡と踊りである。作品に用いられるプロヴァンス太鼓の特徴的な音色も相まって、オーケストラならではの大迫力で盛大に公演の幕を閉じる。</p>			
児童・生徒の参加または体験の形態	<p>【全公演共通】</p> <p>■草津節 民謡をモチーフとしたオリジナルの楽曲のクライマックスでは、手拍子で参加していただきます。</p> <p>■校歌合唱 全校児童・生徒に、校歌をオーケストラ伴奏で歌って参加していただきます。</p> <p>【選択制】</p> <p>■指揮者体験コーナー 児童・生徒代表の方に、オーケストラを指揮していただく場を設けます。演出上、代表者に指揮して頂きますが、指揮者によるレクチャーのコーナーでは、会場全体で一緒に指揮をする形もとり、より一層一体感を感じて参加することができます。</p> <p>■一緒に歌おう 日頃歌っている曲を生のオーケストラの伴奏で合唱していただきます。</p> <p>■吹奏楽部や合唱部との共演 参加希望がある場合はオーケストラの中に入って、一緒に演奏していただきます。</p>			
本公演・ワークショップの内容				

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	参加・体験人數目安	【全公演共通】全員 【選択型】3名～全員 ※内容により変動 鑑賞人數目安
		鑑賞人數目安	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>1.ロッシーニ／歌劇《ウィリアム・テル》序曲から「スイス軍の行進」 2.J.シュトラウスⅡ／ワルツ「春の声」 3.大橋晃一／《草津節》の主題による楽器紹介曲 4.選択コーナー ※a.～d.より1つ選択 a・指揮者体験コーナー ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番 から b・一緒に歌おう(下記の中から1曲選択) 「となりのトトロ」から さんぽ／子どもの世界／大きな古時計／夏の思い出／翼をください／ピリーブ／パプリカ c・一緒に奏でよう(吹奏楽部等による共演例) 校歌 スーザ／星条旗よ永遠なれ シベリウス／交響詩《フィンランディア》 J.シュトラウスⅡ／トリッチ・トラッチ・ボルカ(吹奏楽編曲) フォーレ／《ドリー》組曲より「子守歌」「ミ・ア・ウ」「スペインの踊り」(吹奏楽編曲) d・合唱部との共演(合唱部等との共演は、希望校毎に調整。ただしオーケストラ楽譜のある楽曲に限る。) 5.校歌 6.ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番 7.アンダーソン／ブリンク・ブランク・ブランク 8.ベートーヴェン／交響曲 第5番《運命》から 第1楽章 9.マスカーニ／歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》から「間奏曲」 10.ビゼー／劇付随音楽《アルルの女》第2組曲 から「ファランドール」 11.enc. J.シュトラウスⅠ／ラデツキー行進曲 ※4.の選択コーナーでaを選んだ場合、4.～6.の曲順は、6.→4.→5.の順に入れ替わります。</p>		
出演者	指揮:鈴木織衛、和田一樹、大井剛史、碇山隆一郎 司会:浅田美知瑠、和田美菜子 管弦楽:群馬交響楽団(2管10型)	公演時間	70 分
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>■指揮:鈴木織衛 1996年ベルリンでの「ドイツ室内管弦楽団定期演奏会でコンサート指揮者デビュー。2010年より13年間にわたり、オーケストラ・アンサンブル金沢専任指揮者を務める。現在、群馬交響楽団をはじめ多くの日本のオーケストラとの共演を重ねている。東京藝術大学指揮科講師。</p> <p>■指揮:和田一樹 2015年第6回ブカレスト国際指揮者コンクールにて準優勝。2017年にヤシ・モルドヴァ・フィルハーモニー管弦楽団を指揮しヨーロッパデビュー、毎シーズン客演するなど、国内外で指揮活動を展開している。武藏野音楽大学非常勤講師。</p> <p>■司会:浅田美知瑠 日本大学芸術学部音楽学科音楽理論コース卒業。リトミック研究センター指導者会員。群馬交響楽団では、移動音楽教室、野外コンサート「森とオーケストラ」ほか多数の公演に出演。独自にお話し音楽会の企画、演出も行っている。</p>		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者: 60 名 スタッフ: 9 名 合 計: 69 名	運搬	積載量: 4 t 車 長: 10 m 台 数: 1 台

本公演会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込		無	前日仕込所要時間		時間程度
	到着	仕込	上演	内休憩	撤去	
	【A】8:00頃 【B】10:00頃	8:00~10:00／G.P.11:00~12:30 10:00~12:00	14:00~15:10 13:30~14:40	無	15:20~16:30 14:50~16:00	17:00 16:30
	※本公演時間の目安は、概ね2時間程度です。					
本公演実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月		7月	8月		9月
						3日
	10月		11月	12月		1月
	2日		5日			
	※平日の実施可能日数を記載ください。			計		10日
本公演・ワークショップの内容						
	【図1】本公演・オーケストラ演奏(R5) ※舞台設置に必要な面積/横17~20m×縦10m				【図2】指揮者体験(R5)	
					【図3】ワークショップ(R7)	
	※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡					
著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否			該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名			許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名 公益財団法人 群馬交響楽団】

ワークショップの内容	ワークショップのねらい	<p>児童・生徒にとって本公演当日の鑑賞がより充実したものになるよう、プログラミングやワークショップの構成において工夫を凝らしている。</p> <p>演目には本公演で演奏する楽曲を必ず2曲以上組み込む。本公演曲のアンサンブルとオーケストラ編成の聴き比べが可能となることで、それぞれの特徴や良さを理解してもらう。加えて元来オーケストラ楽曲ではない、より身近な耳なじみのある楽曲を1曲以上取り上げる。愉しみを感じながらワークショップに参加することで、オーケストラの生演奏に対する興味を促す。</p> <p>演奏の間には、オーケストラの編成や楽器の仕組みなどをポスターを使って説明し、実際に弦楽器と管楽器の音色の違いを体感できるように工夫をしている。</p> <p>本公演終演時には、ワークショップ実施前とは比べられないような感性の向上を目指している。</p>		
	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人數目安	体育館の広さにもよるが、上限300名程度
	<p>【編成】 4名のアンサンブルによるレクチャー付きミニコンサートを実施。通常の弦楽四重奏ではなく、管楽器を加えた変則四重奏を必須とし、オーケストラへの興味・関心に繋げる編成とする。</p> <p>【構成】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①.耳なじみのある楽曲の演奏 ②.日常の中に隠されたクラシック楽曲の演奏 ③.本公演で演奏される楽曲のアンサンブル形態による演奏 ④.アニメーマ等の自然と歌詞を口ずさんでしまうような楽曲の演奏 ⑤.オーケストラや楽器についてのレクチャー ※順不同 <p>【状況に応じて】</p> <p>ア 本公演で吹奏楽等との共演の場合 楽団員数名による演奏指導を行う。また、希望により吹奏楽部員への楽器セミナーを行う。(場合により指揮者を派遣することもある。)</p> <p>イ 本公演で合唱部等との共演の場合 楽団員数名とピアノの伴奏者による共演のための演奏指導を行う。 (場合により指揮者を派遣することもある。)</p> <p>ウ ワークショップでの楽器演奏体験 弦楽器に触れて、音が出る所までを楽団員が直接指導、加えて1演目を楽団員とアンサンブル共演する。</p>			
	ワークショップ実施形態及び内容	<p>より近くで鑑賞できるよう、体育館ステージ下(アリーナ床面)で演奏します。舞台上は使用しません。</p> <p>・ワークショップ及び本公演ではピアノの使用は基本的にはありません。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等				

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名】 公益財団法人 群馬交響楽団】

記載方法等	例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。				
	・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。				
	・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。				
	・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。				
	上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。				

会場条件	(必須) 公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。				
	会場の設置階の制限	条件なし	主幹引き込み電源容量	特に必要なし	A以上
	舞台設置面積	間口	17~20 m	奥行	10 m
		高さ	条件なし	m	
	舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応	可
	搬入間口の広さ	幅	8 m	高さ	2 m
	遮光の要否	遮光要件なし	縦幕の要否	不要	
	ピアノの使用について	使用しない	ピアノを使用する場合の設置位置の指定		
		ピアノを使用しない場合の移動の要否			不要
	搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談	トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離	20 m以内	
	搬入車両の種類	中型トラック	台数	1 台	
	搬入車両の大きさ	車幅	2.5 m	車長	10 m
	備考	※「遮光の要否」については基本「要件はなし」ですが、日照の条件によってはカーテンをひかせていただく場合があります。 ※「ピアノを使用しない場合の移動の要否」については基本「不要」ですが、舞台設置の障害となる場合には移動が必要な場合もあります。			

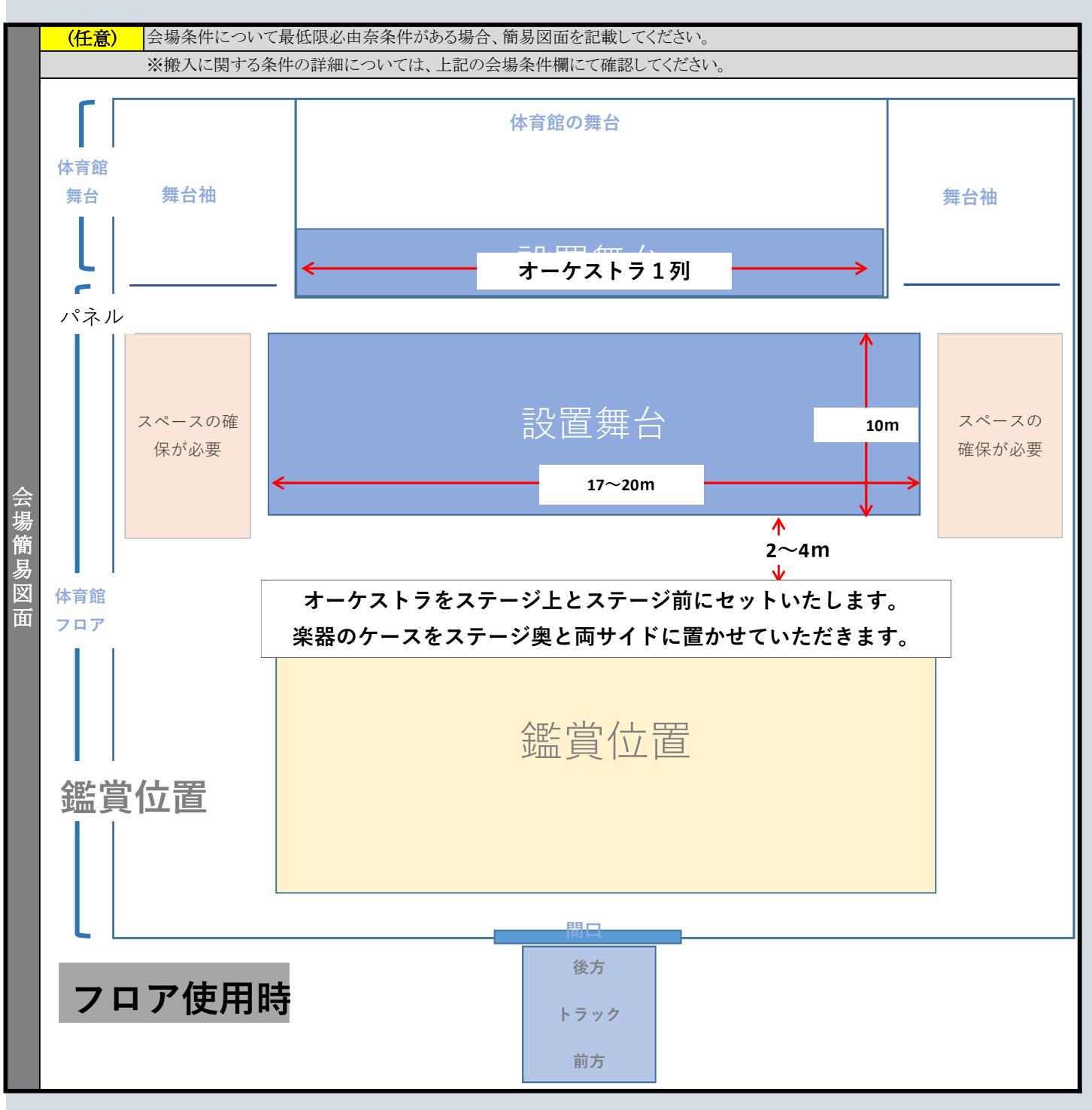
※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報	(任意) 学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。				
	会場図面の提出要否	要			
	その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	可能であれば、搬入箇所・経路の資料があると助かります。			

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。 なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。			
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。				
	対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ				
	ワークショップ				
本公演					
本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
		個別ヒアリング事項
	1	
	2	
3		

(任意) 会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。
※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。



別添

なし

【公演団体名】 公益財団法人 群馬交響楽団

】

【本事業を通じて実現したいこと】

全世界で共通の文化として、数百年もの長きにわたり人々に愛され続けるオーケストラは、異国のような時代や文化、情景に触れ、多様な価値観を体感できる優れた芸術です。作品が生まれた当時から時は流れ、時代背景も変化を重ねインターネット等をはじめ便利になった現在の社会においても、本物の生の音楽を鑑賞する体験は、多感な子供たちにとって、感性の向上や豊かな発想力、想像力が養われることが期待され、学校教育の中でも継続した活動展開を実施していく必要があると考えております。

オーケストラでの音楽教育を始めたパイオニアである群馬交響楽団にとって、本事業の実施は、全国各地の小・中学生、さらには地域の皆様に本物の生の芸術・クラシック音楽をお届けし、その素晴らしさ、愉しみ、オーケストラならではの大迫力やその魅力を、目で、耳で、肌で感じていただき、会場の時間・空間全てが一体となる喜びと感動の体験をお届けするという使命であると感じております。

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

群馬交響楽団は、地域・自治体とともに音楽の素晴らしさを多くの子どもたちに伝える事を、長きにわたり実践してきた地方オーケストラ団体の先駆けです。

当楽団の音楽教育事業の歴史は長く、全国的にも著名な『移動音楽教室事業』は昭和22年の創始以来、脈々とその歴史を令和の時代の現在に受け継いでいます。昭和30年に公開された映画『ここに泉あり』は、この事業の様子を中心とした楽団草創期の模様が描かれており、映画公開の翌年には、文部省により群馬県が全国初の「音楽モデル県」に指定されています。

昭和56年からは、県内の小学校で2回・中学校で1回、在校中にオーケストラの生演奏を鑑賞する現在の事業システムが構築され、翌昭和57年からは高校生も対象として、在校中に1回必ず生のオーケストラ演奏を鑑賞する『高校音楽教室』も始まりました。そのため群馬の子どもたちは小中高の情緒豊かな成長時期に、計4回オーケストラの生演奏を鑑賞することができます。

この約80年にも及ぶ音楽教育事業で培った事業実施に際するノウハウや、鑑賞した子どもたちの「生の声」、子どもの最も身近にいる学校現場の教職員の意見などを反映したプログラム作りなどを工夫し、群馬交響楽団ならではの学校巡回公演を実施したいと考えております。

本事業への応募理由等

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

○実施する各学校の要望に合わせて様々な工夫を考えております

- ・公演内容や選択演目のご相談、公演当日の様々な事について、専任のスタッフがトータルでご相談に応じます。
- ・ご多忙な学校の先生方のお手をできる限り煩わせないよう、独自の詳細資料を準備いたしております。
- ・ワークショップまでの間、電話・FAX・メール、希望に応じてインターネット会議で打ち合わせをさせていただきます。
- ・ワークショップ実施に際して、本公演の詳細な打ち合わせを設けさせていただきます。
- ・打ち合わせ後から本公演当までの間も、疑問点やご心配事などが出た場合は、隨時ご相談に応じます。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

○子どもたちと音楽を身近につなぐ架け橋に

- ・ワークショップでは、クラシック音楽にとどまらず、アニメ音楽や日本民謡を取り入れることで、子どもたちにとって初めての生演奏鑑賞の場合でも親しみをもって聴いて学べるよう構成しております。
- ・演奏者によるお話や解説を交えながら、児童・生徒を巻き込んで実施することで、本公演に対する期待がより膨らみ、充実した本公演が迎えられるようなワークショップを実施しております。
- ・本公演では、ワークショップでの出演メンバーが再度登場し事前学習を振り返り、より知識が深まるよう構成しております。
- ・本公演では、本拠地での『移動音楽教室』においても数多く出演する、熟練の司会者による親しみやすいお話を交えて公演を進行します。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

○未来へ学びへつなぐ支援

- ・配布する公演プログラムには、オーケストラの楽器紹介や指揮者や奏者の並びなどを記載しており、本公演後にもご活用いただける内容となっております。
- ・希望によりさらなる事後学習にも繋がるDVD資料「群馬交響楽団 移動音楽教室～楽器紹介～」の用意も可能です。

一般区分・特別エリア区分共通

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

No.1

【公演団体名 公益財団法人 群馬交響楽団】

公益財団法人群馬交響楽団 役員名簿			
令和7年6月23日現在			
	職	氏名	
1	理事長	山本 一太	群馬県知事
2	副理事長	富岡 賢治	高崎市長
3	副理事長	井下 泰伸	群馬県議会議長
4	副理事長	大塚 康裕	群馬県副知事
5	副理事長	関口 雅弘	(株) 上毛新聞社代表取締役社長
6	副理事長	深井 彰彦	(株) 群馬銀行代表取締役頭取
7	専務理事	西 和一	群馬県職員
9	理事	飯野 晶子	群馬県商工会女性部連合会会長
10	理事	五十嵐 亮二	(一社) 群馬県経営者協会専務理事
11	理事	大竹 良明	群馬県中小企業団体中央会副会長
12	理事	串田 紀之	高崎商工会議所会頭
13	理事	児玉 正藏	高崎芸術劇場館長
14	理事	佐藤 貴昭	群馬県地域創生部長
15	理事	須藤 英仁	(公社) 群馬県医師会会長
16	理事	高橋 伸二	弁護士法人高橋三兄弟法律事務所長 上毛俱楽部名誉理事長
17	理事	平田 郁美	群馬県教育委員会教育長
18	理事	藤井 稔	元全国健康保険協会群馬支部長
19	理事	松田 茜有子	アーモンド株式会社代表取締役
19	理事	水井 栄二	高崎市総務部長

1	監事	松島 宏明	M'sパートナー税理士法人代表社員
2	監事	小林 一仁	(株) 小林ビジネスセンター代表取締役

一般区分・特別エリア区分共通

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先 No.1 【公演団体名 公益財団法人 群馬交響楽団】

公益財団法人群馬交響楽団 評議員名簿

令和7年6月23日現在

	職	氏名	備考
1	評議員	植木 康夫	(株)コウリョウプランニング会長
2	評議員	小野 善平	群響を応援する県民の会(群響ファンズ)会長
3	評議員	清水 一也	(株)しみづ農園代表取締役会長
4	評議員	高橋 幸弘	高崎芸術劇場副館長
5	評議員	竹内 一普	(株)ブリエッセ代表取締役社長 群馬県合唱連盟副理事長
6	評議員	田村 滋	元 県立高校教諭
7	評議員	中澤 敬	(公財)群馬草津国際音楽協会理事
8	評議員	中澤 照雄	新みかほフィルハーモニック団長 行政書士
9	評議員	中森 隆利	日本ピアノホールディング(株)代表取締役
10	評議員	奈良 のりえ	アナウンサー
11	評議員	福田 万寿美	(一財)くらしまち財団たかさき理事長
12	評議員	マーク・ボーラ	中村化成工業(株)代表取締役
13	評議員	松原 真介	群馬音楽協会会長 群馬県合唱連盟理事長
14	評議員	松本 佳祝	群馬県地域創生部文化振興課長
15	評議員	吉田 直人	高崎市総務部文化課長

団体構成員及び加入条件等

一般区分・特別エリア区分共通

別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

No.1

【公演団体名 公益財団法人 群馬交響楽団】

群馬交響楽団 楽団員名簿				令和7年8月1日現在			
	ポジション	氏名	役職等		ポジション	氏名	役職等
1	ソロ・コンサートマスター	伊藤 文乃	ソロ・コンサートマスター	41	クラリネット	田村 知子	首席奏者
2	コンサートマスター	福田 俊一郎	コンサートマスター	42	クラリネット	西川 智也	首席奏者
3	ヴァイオリン	秋葉 美果	首席奏者	43	ファゴット	奈波 和美	首席奏者
4	ヴァイオリン	山本 はづき	首席奏者	44	ファゴット	西岡 千里	
5	ヴァイオリン	高 杉		45	ホルン	関本 隆夫	
6	ヴァイオリン	佐野 隆		46	ホルン	竹村 淳司	首席奏者
7	ヴァイオリン	塙加井 ななみ		47	ホルン	濱地 宗	首席奏者
8	ヴァイオリン	杉山 和駿		48	ホルン	向井 正明	インスペクター
9	ヴァイオリン	竹内 千尋		49	トランペット	太田 恒史	首席奏者
10	ヴァイオリン	棚田 敦子		50	トランペット	柴池 佳乃子	
11	ヴァイオリン	筒井 志帆		51	トロンボーン	石村 源海	
12	ヴァイオリン	西谷 康子		52	トロンボーン	越智 大輔	首席奏者
13	ヴァイオリン	原 美和子		53	トロンボーン	棚田 和彦	首席奏者
14	ヴァイオリン	古橋 紗子		54	バストロンボーン	石原 左近	
15	ヴァイオリン	松本 花菜		55	チューバ	松下 裕幸	
16	ヴァイオリン	宮澤 直樹		56	バーカッショhn	堀川 正彦	
17	ヴァイオリン	宮澤 豊子		57	バーカッショhn	三橋 敦	首席奏者
18	ヴァイオリン	山田 修平	インスペクター	58	バーカッショhn	山本 貢大	
19	ヴィオラ	池田 美代子	首席奏者	59	バーカッショhn	辻本 智裕	
20	ヴィオラ	渡邊 信一郎	首席奏者				
21	ヴィオラ	植村 貴雄					
22	ヴィオラ	太田 瑞奈					
23	ヴィオラ	田岡 幸子					
24	ヴィオラ	戸塚 伊理一					
25	ヴィオラ	民谷 可奈子					
26	チェロ	長瀬 夏嵐	首席奏者				
27	チェロ	中田 英一郎					
28	チェロ	坂 菜々子					
29	チェロ	ファニー・ブザルグ					
30	チェロ	松本 恒瑛					
31	コントラバス	市川 哲郎	首席奏者				
32	コントラバス	片倉 宏樹					
33	コントラバス	石神 悠					
34	コントラバス	若林 昭					
35	フルート	白水 裕憲					
36	フルート	中條 秀記	首席奏者				
37	オーボエ	小宮山 美香					
38	オーボエ	渡邊 潤也					
39	オーボエ	高崎 智久	首席奏者				
40	クラリネット	高子 由佳					

団体構成員及び加入条件等